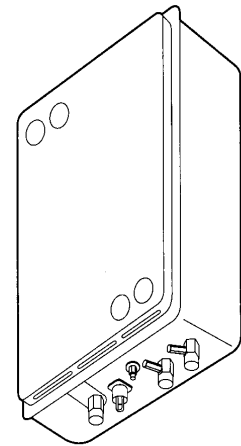


屋外設置形

ガスふろがま

31-005 型

型式名 GF-120AW



取扱説明書

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくお使いください。別添の保証書とともに、この「取扱説明書」をいつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。

 **大阪ガス**

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先
別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

お願い ガスくさいときは、ガス栓を閉じ窓を全開にして、(火気に注意して)
大阪ガスに連絡してください。

KE7009

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスふろがまをお買い上げいただき、ありがとうございます。
 ※取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型式名・製造年月をお知らせください。

機能と特長

このガスふろがまは、次のような特長をそろえています。

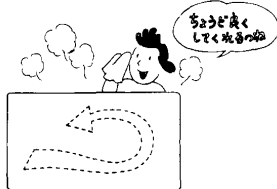
●リモコン操作で好みの温度に沸き上げます。(→P 12・14参照)

リモコンで合わせた温度に沸き上がると自動的に保温します。



●上下の温度差が少ない。

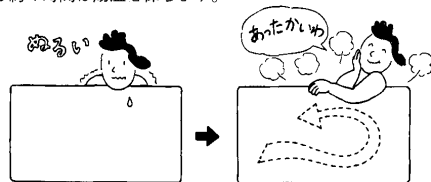
浴槽のお湯はポンプによって循環しているのほぼ均一に沸き上がります。



●湯温が下がったら、自動的にあたためます。(→P 12・14参照)

湯温が下がったら約15～30分ごとに自動的にあたためます。(保温機能)

沸き上がりから約4時間は湯温を保ちます。



※工場出荷時には、保温時間は約4時間に設定していますが、約2時間にも設定できます。変更する場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

もくじ

●機器の設置はお好みの場所に。

屋外の壁で自由なところに設置できます。

機能と特長	1
もくじ	2
安全に正しくお使いいただくために	3
必ずお守りください	4
各部の名称とはたらき	11

使いかたの簡単な説明	12
------------	----

お風呂を沸かすときは	13
------------	----

初めてお使いになるときは	13
--------------	----

お使いになる前に確認してください

お風呂沸かしの手順	13
-----------	----

沸かす運転・保温運転を止めるときは	15
-------------------	----

沸かし直し	15
-------	----

追いだき運転	16
--------	----

冬期の凍結予防をするには	17
--------------	----

故障かな?と思ったら	19
------------	----

日常の点検とお手入れ	21
------------	----

仕様一覧	23
------	----

寸法図	24
-----	----

アフターサービスについて	25
--------------	----

お使いいただく前に

使いかた

故障かな?と思ったら

点検・手入れ他

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について■




この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

△危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

△警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

△注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 一般的な禁止
  火気厳禁
  接触禁止
  分解禁止

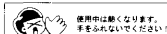
 必ず行う
  電源プラグを抜く
  アースを接続せよ

お願い ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(P××参照) 参照ページを示します。

■機器本体の表示について■

やけど注意



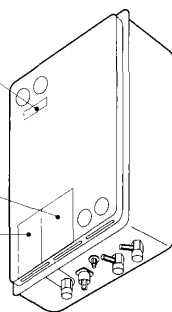
●排気口や周囲が高温になるため、やけど注意を表示しています。

使用上の注意

●使用上の注意について表示しています。

銘板

●型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

お使いいただく前に

△危険

屋外用ガス機器

●この機器は屋外設置形ですので絶対に屋内に設置しない。不完全燃焼を起こし、大変危険です。

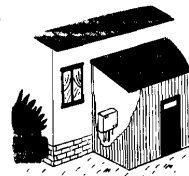
△警告

機器設置(および付帯工事)

●この機器は屋外設置形ですので、増改築などによって屋内状態にしない。また、排気口の前方に物を置いたり、設置後に機器を波板などで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止



●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

使用ガス、使用電源について

- 銘板(機器前面に貼付)に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)の適合を確認する。表示のガス種および電源が一致しないと使用できない。もし、使用すると不完全燃焼による一酸化炭素中毒や爆発着火によるやけど、また機器が故障する場合があります。
- この機器は、AC100Vで60Hz用です。お宅の電源と周波数が一致しているかお確かめください。
- 転居されたときも、供給ガスの種類と銘板のガスの種類が一致していることを必ず確かめる。
- わからない場合はお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。



ガス漏れ時の処置

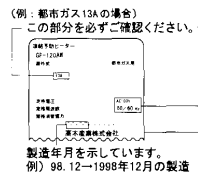
- ガス漏れに気づいたときは、すべての処置が終るまでのあいだ絶対に機器の運転を止したり、機器の近くで電気器具のスイッチの入・切や火を近づけたり、電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。炎や火花で引火し火災になることがあります。
- ①すぐに使用をやめてガス栓を閉じる。
- ②お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。



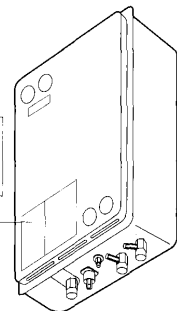
火気厳禁



(例: 都市ガス 13A の場合)
この部分を必ずご確認ください。



製造年月を示しています。
例) 98.12→1998年12月の製造



必ずお守りください

警告

火災予防

(可燃物に注意)

- 機器および排気口の周囲に燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 排気口は洗濯物などでおわかない。不完全燃焼の原因となります。

(スプレー缶厳禁)

- 機器の周囲にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

(引火のおそれがあるものの使用禁止)

- 機器の周囲ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火のおそれのあるものを使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。



禁止



入浴時の注意

- 浴槽に入るときは、手で湯温を確認して入浴する。不測の場合、やけどのおそれがあります。
- 追いかさ中や追いかさ直後は、循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意する。

ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。接続はお買い上げの販売店または、大阪ガスが行いますので、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご相談ください。



分解禁止

分解しない

- お買い上げの販売店または、大阪ガス以外の人による分解、修理・改造は絶対に行わない。異常動作して事故の原因となります。

異常時の処置について

- ① 使用中で火が消える場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
 - ② 本書の「故障かな?と思ったら」(P19.20)に従って処置をする。
 - ③ 上記の処置をしても直らない場合、または、使用中に異常な燃焼や臭気、異常音、を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店または最寄りの大阪ガスへ連絡する。
- 地震、火災などの緊急のときは使用をやめ、ガス栓を閉じる。



ガス栓を閉じる



お子様には十分な注意を

- 浴槽の循環口の付近で水に潜ったりしない。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。思わぬ事故につながる可能性があります。
- おふろを沸かしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。



注意

電気事故防止

- 電源コードを加工したり無理な力を加えない。感電・ショートや発火による火災のおそれがあります。
- 傷んだプラグ、コードは使わない。
- 差込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
- 電源プラグのはごりは、拭き取る。発火の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。



禁止



- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や発火の原因になります。
- この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。



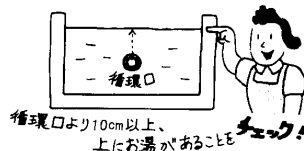
アースを接続せよ

用途についての注意

- 一般家庭でのおふろ沸かし以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。
 - 車両・船舶への搭載はしない。
- 振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。

空だき防止

- おふろ沸かしや追いかさの際は、必ず浴槽の循環口より10cm以上上に湯(水)が入っていることを確かめる。水位が低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となることがあります。



やけどに注意

- 機器の使用前または使用後しばらくは、排気口とその周辺部に絶対に手を触れない。高温になっているのでやけどのおそれがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



接触禁止



必ずお守りください

お願い

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

リモコンの扱いについて

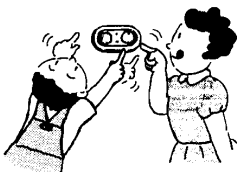
- リモコンは分解しないでください。誤動作や故障の原因となります。
- リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
- リモコンはお子様がいざらしめないよう注意してください。



分解禁止



禁止

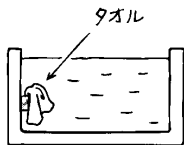


入浴時の注意

- 浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。循環不良でお風呂沸かしができなくなったり、機器の故障原因になります。
- 循環口フィルターを外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。



禁止



用途についての注意

- 本製品は家庭用です。業務用にお使いになると著しく寿命が短くなることがあります。

お願い

凍結についての注意

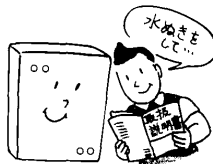
- 凍結のおそれがあるときは、この取扱説明書のP17「冬期の凍結予防するには」に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
- 凍結予防運転のために電気を使用していますので緊急のとき以外は、電源プラグを抜かないでください。

凍結したとき

- 機器や配管が損傷した場合、高額の修理費がかかります(有料)。
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結がとけたあと再使用するときは、機器および配管から水漏れがないことを確認後、P13「初めてお使いになるときは」の項以下の操作を行ってください。

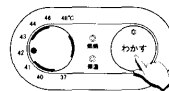
長期間使用しないときは

- この取扱説明書P17の「機器内の水抜き方法」に従って、水抜きを行ってください。おこたると冬期に凍結する場合があります。

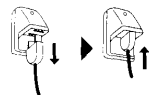


雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。



押しでもランプが点灯しない



電源プラグを抜いて差し込む

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- お風呂を沸かしているときに、停電になると、運転が停止します。通電後、再度、「わかす」スイッチを押してください。

必ずお守りください

お願い

日常の点検・お手入れ

- 日常の点検・お手入れをしてください。(P21・22参照)
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 循環口フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口フィルターが詰まると、浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上がる前に消火することがあります。
- 浴槽が水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴槽のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等で拭き取ってください。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸、強アルカリの洗剤および、硫黄、酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確認し機器への悪影響がないものをご使用ください。
- ふろ用洗剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、フィルターやお湯の通路にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 薬草やゆず、薬草入り入浴剤の場合は、薬草などがフィルターや機器内部に詰まることがありますので、ご使用を避けてください。



禁止

お願い

可燃物との離隔距離

- 機器を設置する場所の周囲の壁、天井などが防火上安全なものであるか確認し、可燃性の部分から十分離して設置してください(不明な点は販売店へご相談ください)。

給排気について

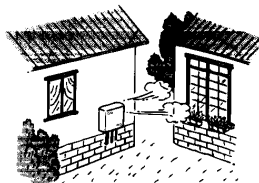
- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

排気ガス

- 排気ガスが直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないよう施工してください。外壁が変色したりアルミサッシが腐食したりするおそれがあります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。



禁止



設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼音、燃焼用送風機、ポンプ回転音)で迷惑にならない場所に設置してください(工事担当者へご相談ください)。
- 足場などを組んだり、ハシゴ、脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

地下水や温泉水、井戸水の注意

- 地下水や温泉水、井戸水を使用される場合は施工前に十分、水質を確認してください。水質によっては配管や機器を腐食させることがあります。

ほこり

- 砂や油煙、ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。



禁止

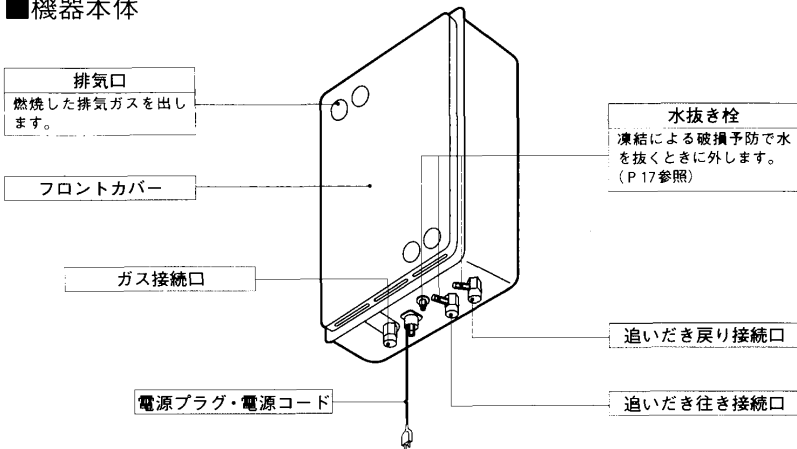


塩害

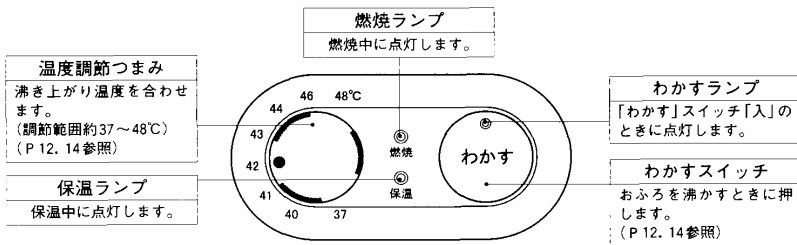
- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

各部の名称とはたらき

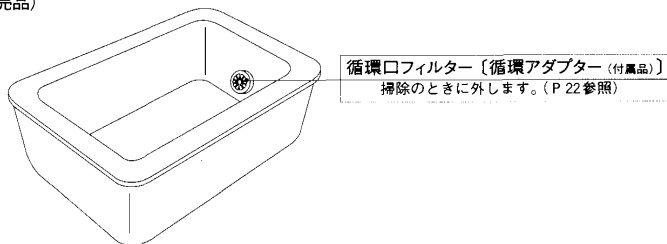
■機器本体



■浴室リモコン



■浴槽 (別売品)

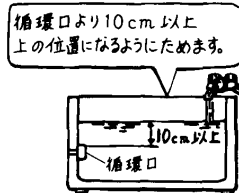


使いかたの簡単な説明

1 浴槽に水をため、ふたをします。

①浴槽へ水をためます。

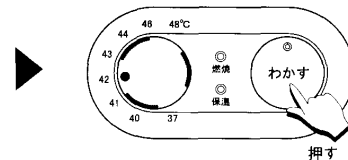
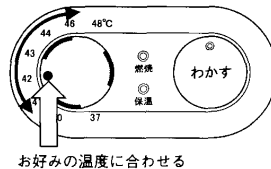
②浴槽のふたをします。



2 リモコンで沸き上がり温度を合わせ「わかす」スイッチを押します。

①沸き上がり温度を合わせます。

②わかすスイッチを押します。



●以上の操作を行えば、合わせた温度に沸き上がります。その後は、約4時間、自動的に湯温を保ちます。

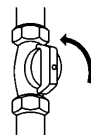
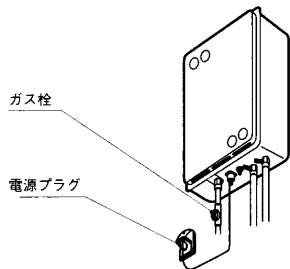
☆使いかたの詳細な説明は、13ページより

おふろを沸かすときは

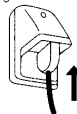
■初めてお使いになるときは お使いになる前に確認してください

① この取扱説明書のP21の内容に従って、機器や機器周辺の点検・確認を行います。

② ガス栓を全開にする。



③ 電源プラグがコンセントに入っているか確認する。



■おふろ沸かしの手順

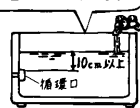
1 沸かす前に確認してください

① 浴槽へ排水栓を差し込む。

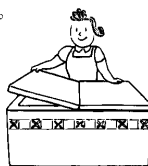


② 浴槽へ水をためる。

循環口より10cm以上上の位置にならうにためます。



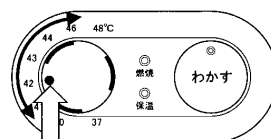
③ 浴槽のふたをする。



- XE**
- 浴槽へ水をためるときは、循環口より10cm以上上のお好みの位置までためてください。
 - おふろ沸かしや追いだきをするときに、浴槽の水が循環口より低い場合は、必ず水をたしてください。たさずに操作しますと故障の原因となります。

2

(図は42℃に合わせた場合)

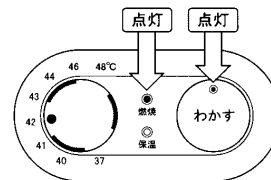
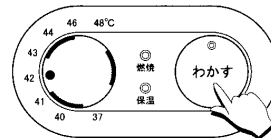


お好みの温度に合わせる

- 温度調節つまみをお好みの温度に合わせてます。
- 温度調節範囲は約37℃～約48℃。

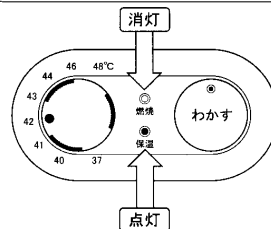
3

「わかす」スイッチを押す



- わかすランプが点灯。
- しばらくして、燃焼ランプが点灯。

合わせた温度に沸き上がります



保温運転に入ります

- この後は自動的に約4時間、湯温を保ちます。(保温ランプは点灯したまま) この間は約15～30分ごとにポンプが回り、湯温が下がっていると自動的に合わせた湯温まで沸き上げ、保温します。(ときどき燃焼ランプが点灯)
- 4時間経過すると保温ランプとわかすランプは消灯します。

●ご注意ください

- 表示の温度と沸き上がり温度は必ずしも一致しません。目安としてお使いください。
- 「わかす」スイッチを押してしばらくして燃焼ランプが点灯しますが、条件によっては時間がかかることがあります。

XE

- 工場出荷時には、保温時間は約4時間に設定していますが、約2時間にも設定できます。変更する場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスにお問い合わせください。

使いかた

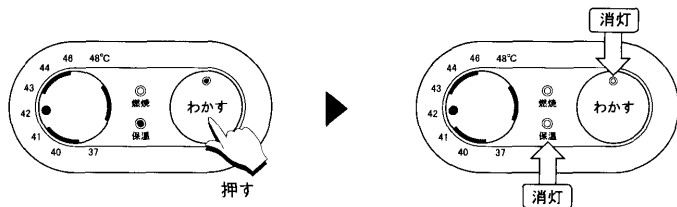
お風呂を沸かすときは

■わかす運転・保温運転を止めるときは

「わかす」スイッチを再度押す

(図は「保温運転中に保温運転を止めたとき」を示します)

わかす運転で沸き上がる前にわかす運転を止めたとき	燃焼ランプが消灯 わかすランプが消灯
保温運転中に保温運転を止めたとき	保温ランプが消灯 わかすランプが消灯



■沸かし直し

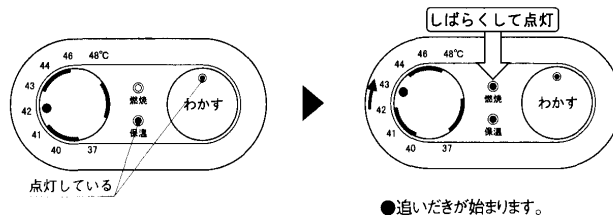
●前日の残り湯を沸かし直したいときは、「お風呂沸かしの手順」(P13参照)と同じ手順で行ってください。

△注意 ●追いだきの際は、必ず浴槽の循環口より10cm以上上に湯(水)が入っていることを確かめる。水位が低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となります。

■追いだき運転

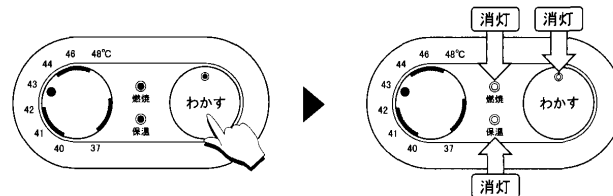
●保温中に、もっと熱くしたいとき操作します。

1 現在合わせている温度より1目盛以上高めに合わせ直す
(図は42℃から1目盛高くしたとき→43℃)



●追いだきが始まります。

2 お好みの湯かげんになったら、「わかす」スイッチを再度押す(追いだき運転停止)



●わかすランプ、保温ランプ、燃焼ランプが消灯し、保温が停止します。

●追いだき停止をしない場合は合わせ直した温度に沸き上げ自動停止します。この場合、合わせ直した温度で保温します。(保温時間は最初に沸き上げたときから4時間となります。)

✕E ●保温中以外で追いだきをするには、温度調節つまみを合わせ直した後、「わかす」スイッチを押してください。

冬期の凍結予防をするには

- 機器が凍結すると、使用できなくなるばかりでなく、水漏れ、故障の原因となります。
- 凍結予防は、次のいずれかの方法で行ってください。

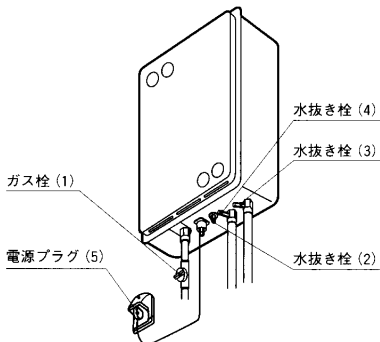
■浴槽の湯（水）の循環による方法（通常の寒さ）

- この機器には、気温が下がってくると自動的に浴槽の湯（水）を循環して機器内や追いき配管の凍結を予防する装置（外気温が-15℃程度まで凍結予防できる装置）がついています。
- 外気温が4℃以下になりそうときは、浴槽の残り湯は捨てないでそのままにしておいてください。



■機器内の水抜き方法（異常寒波・長期間使用しないとき）

- ⚠ 注意** ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。
 機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。



- 家の電源ブレーカーを「切」にする場合や電源プラグを抜く場合には、この水抜き凍結予防方法によります。

- ①浴槽の水を排水します。
- ②ガス栓(1)を閉じます。
- ③水抜き栓(2)(3)(4)を外します。
- ④電源プラグ(5)を抜きます。

凍結したときは

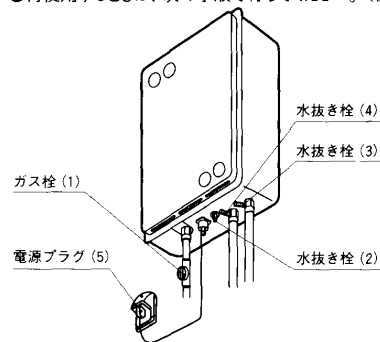
- 凍結した場合、ガス栓を閉じてとけるのを待ち、一旦水漏れがないことを確認のうえ、ご使用ください。凍結したまま運転操作をしますと機器に異常が生じる場合があります。なお、ご不明の場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 機器や配管が破損しますと、高額な修理代がかかる場合がありますので注意してください。

- お願い**
- 凍結予防装置は、電源プラグを抜くと作動しません。
 - 特に寒いときや、急な寒波などで寒くなりそうときは、早めに「機器内の水抜き方法」で凍結予防してください。
 - 機器内の凍結は予防できても配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。
 - 水抜きの操作を行った後は、浴槽に水を入れしないでください。

凍結を予防するための操作について説明します。

■再使用するときは

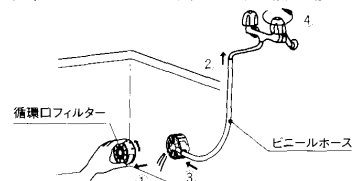
- 再使用するときは、次の手順で行ってください。（機器内の水抜きを行ったとき）



- ①水抜き栓(2)(3)(4)を閉じます。
 - ②ガス栓(1)を全開にします。
 - ③電源プラグ(5)をコンセントに入れます。
 - ④呼び水を行います。
- 次のいずれかで行ってください。
 (A) ビニールホース（市販品）を使う場合
 (B) シャワーホースを使う場合

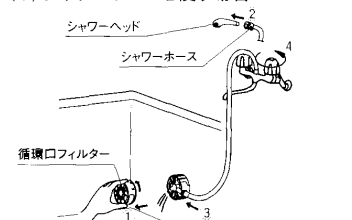
呼び水とは
 この機器は浴槽の水をポンプで循環させてお風呂を沸かしますが、水抜きをすると、ポンプ内の水がなくなり循環ができなくなります。呼び水とは、ポンプ内に水を入れることをいいます。

(A) ビニールホース（市販品）を使う場合



- ①循環口フィルターを外します。（P22参照）
- ②ビニールホースの一方を水道の蛇口へ差し込みます。
- ③もう一方を循環口へ差し込みます。
- ④給水栓を開け、もう一方の循環口から水が流れるまで水を入れます。

(B) シャワーホースを使う場合



- ①循環口フィルターを外します。（P22参照）
- ②シャワーヘッドをシャワーホースから外します。
- ③シャワーホースを循環口へ押しつけます。
- ④給水栓を開け、もう一方の循環口から水が流れるまで水を入れます。

- お願い**
- シャワーホースを循環口へ押しつける際、しっかり押しつけないと水が飛散することがありますのでご注意ください。
 - 呼び水を行った後、シャワーヘッドをシャワーホースに取り付ける際は、パッキンを忘れないようにしてください。

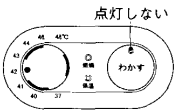
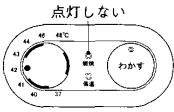
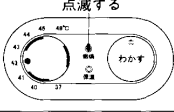
使
い
か
た

故障かな？と思ったら

■こんな場合は故障ではありません

こんな場合	理由
寒い日、排気口から白い煙がでる	冬には、はく息が白く見えるように排気ガス中の水蒸気が白く見えます。
運転終了後もしばらくポンプが回る	わかす運転終了後、湯のかくはんのために、ポンプがしばらく回ります。
冬期など寒いとき、ポンプが自動的に回る	凍結による破損予防のためポンプの自動運転を行います。
保温中にときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するため約15～30分毎にポンプが回ります。

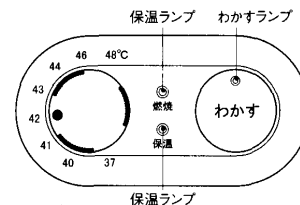
■次のことを調べましょう

現象	お調べください
リモコンのわかすランプが点灯しない 	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？ (P13参照)
リモコンの燃焼ランプが点灯しない 	ガス栓が全開になっていますか？ (P13参照) 浴槽に水が入っていますか？ (P13参照)
リモコンの燃焼ランプが点滅する 	「わかす」スイッチを押して切にし、約3秒後、もう一度押して入にしてください。それでも点滅するときは故障ですので、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ修理を依頼してください。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

■リモコンのアラーム表示

- この機器の浴室リモコンには、自己診断機能がついています。機器が故障すると、わかすランプ・保温ランプ・燃焼ランプのいずれかが、単独または複数で点滅します。
- ランプが点滅したときは、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに修理を依頼してください。その際、どのランプが点滅しているかお知らせください。



アラーム要因	わかすランプ	燃焼ランプ	保温ランプ
ファン回転検出異常	●	—	—
サーミスタ断線・短絡	●	●	●
着火ミス	—	●	—
失火	—	●	●
水流スイッチ断線(水なし) 水流スイッチ短絡	●	—	●
リモコン通信不良	●	●	—
ハイリミットスイッチ作動 電磁弁駆動回路	—	—	●

- 印・・・0.5秒毎の点滅（2つ以上のランプで表示する場合は同時点滅）
- 印・・・消灯

日常の点検とお手入れ

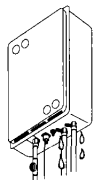
- 安全に正しくお使いいただけるように点検とお手入れは定期的に行ってください。
- 点検、お手入れの前に必ずガス栓を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
- フロントカバーを外したり、分解したりしないでください。
- お手入れの際、指先には十分注意してください。



分解禁止

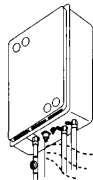
■点検のポイント

① 機器や配管より水漏れはありませんか？



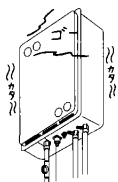
- 水漏れは、機器の故障だけでなく、お隣や隣下のお客様にも多大な迷惑をかけます。
- 水漏れがありましたら、修理依頼してください。

② 機器や配管よりガスの臭気はありませんか？



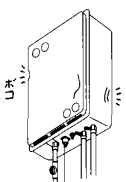
- 配管接続部に中性洗剤などをつけて、シャボン玉状になればガス漏れです。修理依頼してください。

③ 使用中に異常音がありませんか？



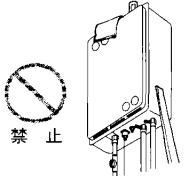
- 気になる場合は点検依頼してください。

④ 外観に異常は見られませんか？



- 塗装面をキス付けたときは、さびを紙やすりで落とし、ペンキ等を塗って保護してください。

⑤ 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？



- 排気口がタオル・ふさん等でふさがっていると不完全燃焼や異常過熱の原因となりますので、排気口をふさがしないでください。
- 危険ですので、機器のまわりには燃えやすいものを置かないでください。

⑥ 排気口が積雪や、屋根から落ちた雪により閉鎖されていませんか？

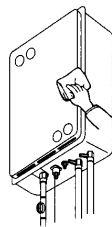
- 排気口が閉鎖されていると機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には排気口の点検・除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気口を閉鎖するおそれがある場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへ連絡し、設置場所を変更してください。

■定期点検のおすすめ(有料)

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。
- 機器が古くなると熱交換器やバーナーにサビやスス、ほこり等がつかまります。このような場合不完全燃焼を起こすことがあります。ときどき使用中に異常(異常音、排気に不快なおい、目にしみる等)がないか確認してください。異常に気づかれた場合は使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

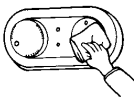
■手入れのしかた

① 機器本体



機器本体のお手入れは水に濡らしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふきとります。

② リモコン



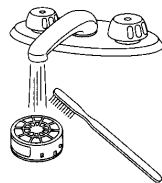
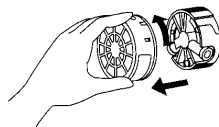
リモコンの表面を掃除するときは、水に濡らしたやわらかい布を軽く絞って、軽くふきとります。

③ 浴槽の循環口フィルター

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、おふろ沸かしや追いだし運転ができなくなります。

〔循環口フィルターの外しかた〕

- (1) 循環口フィルターを左に回して手前に引きます。
- (2) 歯ブラシなどで洗います。



- (3) 掃除後、循環口フィルターを元のように取り付けます。

お願い

- 洗剤およびシンナー・ベンジンなどでは、ふかないでください。
- リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
- 循環口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。循環口フィルターを付けずに運転するとポンプ等の故障の原因となります。

仕様一覧

仕様表

項目	内容	補足説明
品名	31-005型	
型式名	GF-120AW	定格銘板にある型式名
外形寸法(mm)/質量(kg)	幅350×奥行130×高さ571/14	機器の外形寸法/本体の質量
温度調節	温度設定可変型	
点火方法	AC100V連続放電式(ダイレクト着火)	放電火花による点火方式
材質	本体外装/塗装 溶融亜鉛メッキ鋼板/粉体焼付塗装 排気部/給気部 ステンレス鋼板/溶融亜鉛メッキ鋼板 熱交換器/バーナー 脱酸銅/ステンレス鋼板	
接続ガス	1.5A(R1/2)オネジ	各配管の接続口径
追いだし往・戻電	1.5A(R1/2)オネジ	
電源	AC100V(50/60Hz)	使用できる電源
リモコン	2.4V以下	
消費電力	無負荷時 4W わかす運転 112W/136W	
凍結予防時	電気ヒーター3.2W・ポンプ運転7.9W/10.3W	
電源コード	VCT(2芯)機外長2.0m	
安全装置	ファン回転検出装置(回転数検知方式)	安全装置の名称
	立消え安全装置(フレイムロッド方式)	
	空だき安全装置(バイメタル式)	
	空だき防止装置(水流スイッチ)	
	過熱防止装置(温度ヒューズ)	
	漏電安全装置(漏電リレー)	
誘導雷保護装置(サージアブソーバー)		
凍結予防装置(電気ヒーター+ポンプ運転)		
過電流安全装置(ガラス管ヒューズ)		

能力表

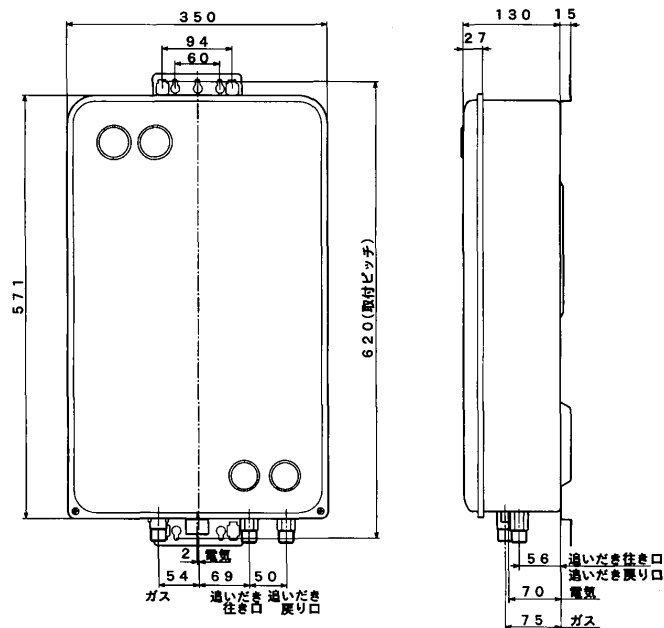
使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量 kW[kcal/h]	沸き上がり時間(分) 浴槽180Lの場合			ガス接続 1.5A (R1/2)
		春・秋 (15→40℃)	夏 (25→40℃)	冬 (5→40℃)	
都市ガス 13A	14.0[12.0/0.0]	30	18	42	
LPガス	14.0[11.0kg/h]	30	18	42	

- ◎ガス: JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。
- ◎沸き上がり時間は実際とは異なる場合がありますので、目安としてお使いください。
- ◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

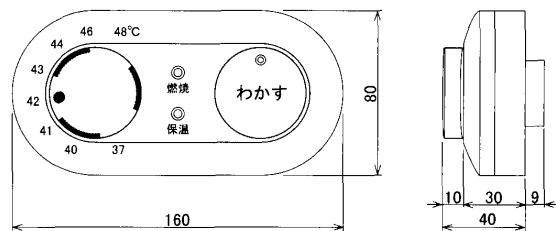
寸法図

機器本体

(単位:mm)



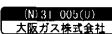
浴室リモコン



点検・手入れ他

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 19～20ページの「故障かな?と思ったら」の項を確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付の際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2) 品名: 31-005型 
(ガスの種類例えば13A)
(上のようなラベルを機器の前面に貼付けてあります)
 - (3) 現象(故障または異常内容、アラーム表示などできるだけ詳しく)
 - (4) 訪問ご希望日

保証について

- このガスふろがまには保証書がついています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は製造打切り後6年です。ただし、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類および電源、周波数が異なる地域へ転居される場合は、調整、改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のごガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。お問い合わせは別紙「大阪ガスのお問い合わせ先」をご覧ください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 給水元栓を閉じます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。(P17参照)
 - (4) 電源プラグを抜きます。

MEMO